

令和4年11月4日
障 害 福 祉 部

人工呼吸器等を使用している医療的ケア児者へのポータブル電源等の配付について

(付議の要旨)

今年度実施した18歳未満の人工呼吸器等を使用する医療的ケア児を対象に実施したポータブル電源等の配付（給付）事業について、令和5年度以降「18歳以上の医療的ケア者」及び「令和4年度の配付以降に転入等により新たに配付を希望する方」を対象に加えることを決定する。

1. 主旨

人工呼吸器等を使用している18歳未満の医療的ケア児が、災害時や不安定な電力供給などの緊急時に、在宅で安心して日常生活及び社会生活を継続できるよう、ポータブル電源等の配付（給付）を令和4年度より実施している。本事業について、令和5年度以降、18歳以上の医療的ケア者を対象に加えこれを実施する。

2. 経緯と課題

人工呼吸器等を使用している医療的ケア児者は、災害時であっても医療機器の電源を確保することが生命の維持にかかわる問題となるため、個別避難計画の作成にあたり、電源確保ができる方法や場所をあらかじめ想定することが必要となっている。

区では、医療的ケア児の災害時の安心に向けた取り組みとして「世田谷区医療的ケア児の笑顔を支える基金」を活用し、障害児通所施設での電源確保による“災害時のつながり”づくりに取り組んできた。

令和4年度には、人工呼吸器等を使用している全ての医療的ケア児を対象として、ポータブル電源と小型ソーラーパネル等のセット（以下「ポータブル電源等」という）を個別配付（給付）する取組みを実施した。（令和4年9月）

一方、人工呼吸器等を使用する医療的ケア者については、特に酸素吸入や頻回な喀痰吸引を必要とする方等の人数や状況の想定、財源の確保を検討する必要があったことから令和4年度は配付対象としていなかった。

3. 令和5年度の取組みについて

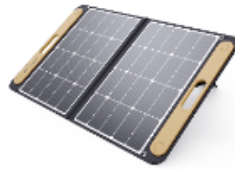
(1) 内容

人工呼吸器等の電気を必要とする医療機器を在宅で使用している医療的ケア者（18歳以上）及び転入等により新たに必要となった医療的ケア児に対しポータブル電源等を個別配付（給付）する。ポータブル電源等を既に所持している方には、自家用車等から医療機器に充電を行うためのインバーター装置（DC/AC インバーター）を配付（給付）する。（いずれも自己負担なし）*入院中・入所中の方は対象外とする。

(2) 配付（給付）する物品のイメージ



ポータブル電源



小型ソーラーパネル



インバーター装置

*ポータブル電源の耐用年数等について

リチウムイオン電池を使ったポータブル電源は、一般に、耐用年数6年、充電回数（サイクル）500回以上とされている。使用状況や保管状態にもよるが、概ね6～10年で買い替え時期となることについて対象者に丁寧に案内し、災害時に使えないことのないよう留意いただく。

(3) 令和5年度の配付（給付）対象者数

129人（医療的ケア者 121人、医療的ケア児 8人）

※ 令和4年度の配付（給付）状況から、ポータブル電源等を希望する方を127人、インバーターを希望する方を2人と想定。

(対象者数の考え方)

- ・令和3年度に実施した医療的ケア児の保護者調査で、人工呼吸器を必要としている医療的ケア児は37%、吸引を必要としている医療的ケア児は64%。（複数回答式）
- ・医療的ケア者（成人）の人数に関する統計は無いため、呼吸器機能障害の身体障害者手帳を所持している方を医療的ケアの必要な方とみなし、令和4年度保健福祉総合事業概要における呼吸器機能障害者のうち、18歳以上は189人である。
- ・呼吸器機能障害の身体障害者手帳を所持している方のうち、医療的ケアの種別ごとの割合は医療的ケア児も医療的ケア者も同様の傾向がみられるため64%121人を電気を必要とする医療機器を使用している医療的ケア者と推計する。
- ・医療的ケア児の増加率は平均すると1年で8人増えている。
- ・医療的ケア児については医療的ケア児の笑顔を支える基金で対応し、令和5年度に配付（給付）対象する医療的ケア児者の合計は129人とする。

4. 災害時個別支援計画の作成支援について

- ・今回の取り組みに申し出のあった在宅人工呼吸器使用者については、本人同意のうえ関係各課に情報提供するとともに、災害時個別支援計画の作成支援につなげる。
- ・なお、ポータブル電源等を実際の災害時に活用できるよう、配付（給付）から概ね6か月後にアンケートを送付し、使用想定の確認や定期的な充電の促しなどを行う。

5. その他

令和6年度以降の人工呼吸器等を使用している医療的ケア児者の電源確保については、緊急時や災害時の観点も踏まえ、障害者日常生活用具給付事業での対応を含め整理する。

6. 令和5年度概算経費：14,552千円

内訳：ポータブル電源等（小型ソーラーパネル等セット）	13,970 千円
インバーター装置	66 千円
配送料	516 千円

財源：○特定財源 4,708千円

内訳 1) 都医療保健政策包括補助事業	3,796 千円（補助率 1/2）
*人工呼吸器使用者が対象	
2) 医療的ケア児の笑顔を支える基金	912 千円

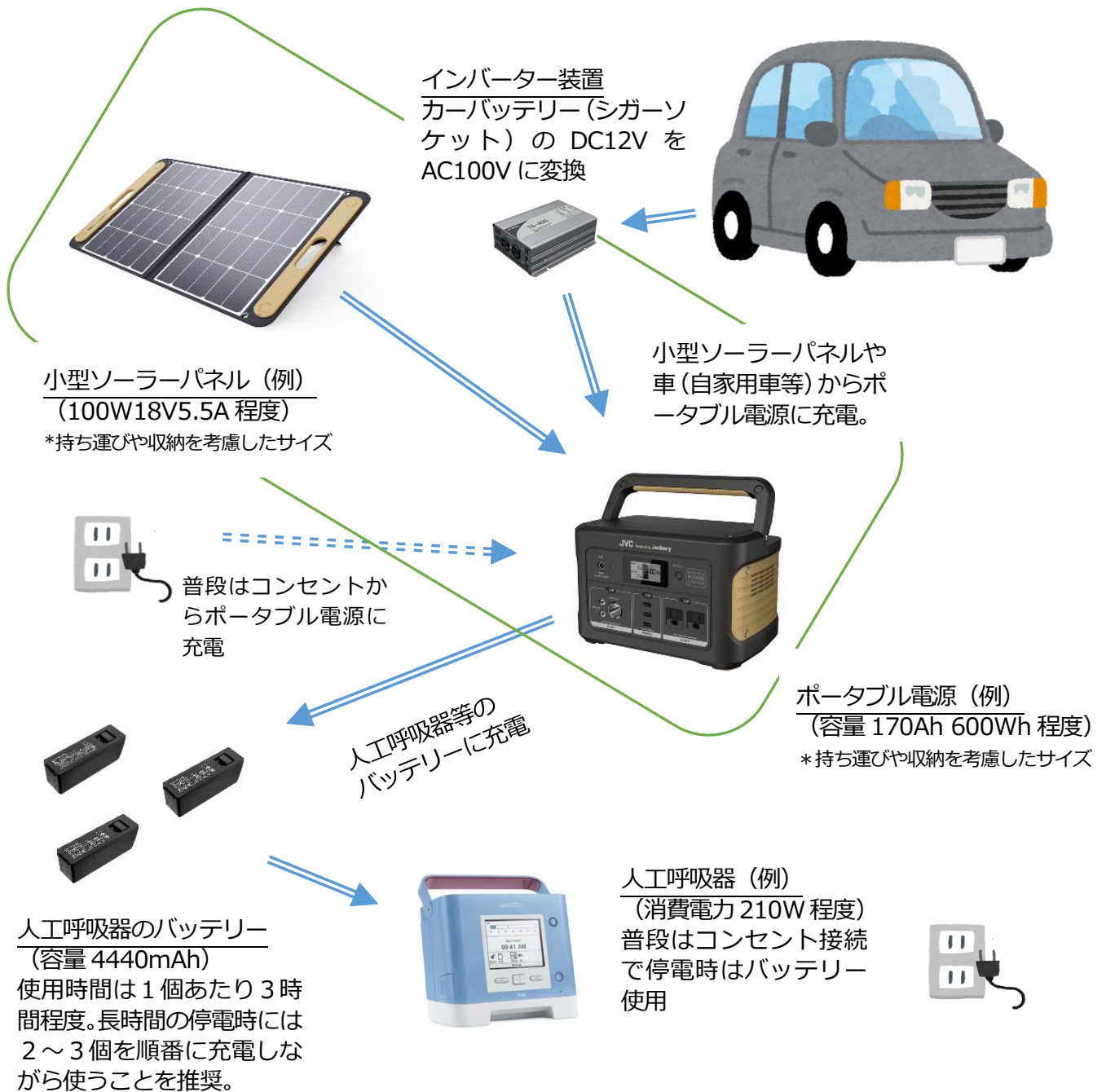
○一般財源 9,844千円

7. 今後のスケジュール（予定）

令和4年11月	福祉保健常任委員会
令和5年 4月	対象者や関係者へ周知
5月	対象者からの申請
6月	入札・物品購入
8月～	配付（給付）

【参考1】 医療的ケア者によるポータブル電源等の使用イメージ

* 想定している機器の容量や出力等について追記



医療的ケア児が使う
電気の必要な医療機器の例

- ・人工呼吸器
- ・パルスオキシメーター
- ・吸引機
- ・酸素濃縮器

* 手動式の蘇生バッグなど、電気を使わない機器の準備も推奨。